様式３(2020.08改)

作成日　令和4年1月12日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393300047
事業所名	グループホーム　はっぴい

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍で地域行事は中止になり、以前の交流は難しい状況にある。散歩時の挨拶や、ご近所からの到来物、回覧板等で交流を続けている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	2ヶ月毎に会議を開催し、家族、地域、行政等と情報交換・共有を行っている。今期は滞りなく通常の会議を開催できている。コロナ禍の宣言発令等の場合は、状況を考え、書面開催にすることもある。聞き取った意見や提案は、積極的にホーム運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の担当部署とは、ホームの運営に関する相談や報告を通じ、適切に連携している。また、市のネットワーク「ほいっぷネットワーク」に参加し、横のつながりでも連携を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍で家族会は中止にしていることから、密な情報提供に努め、家族の安心に応えている。昨今の一番の関心事である、コロナ対策・対応についても、家族アンケートを実施し、意見や提案を募っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

この1年、コロナ下であっても年6回の会議を通常開催している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	○	○	○	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									